

婦人関係資料シリーズ

参考資料 No. 41

主婦の生活と意見

主婦の家庭生活実態調査結果速報

労働省婦人少年局

は し か き

婦人少年局では昨秋、東京都及び神奈川県横浜市の山梨県田舎村、茨城県平磯町の四地域で「主婦の家庭生活実態調査」を実施しました。この調査は、大・中の都市と農・漁村での主婦のくらし方と考え方の一端を明らかにする目的で行ったものですが、今回の婦人週間にあつてその資料の一つとして、調査結果の一部をここにとりまとめました。

昭和32年3月

労働省婦人少年局

I. 調査の概要

1. 調査地域

大都市 東京都23区
中都市 神奈川県横浜市の山梨県田舎村
農村 茨城県平磯町

2. 調査の対象者

有夫の既婚婦人合計1040名（住民票より無作為抽出）

	サンプル数	回収数
東京都	650	587
横浜市の山梨県田舎村	130	116
平磯町	130	127
計	1040	944

ハ 調査期日 昭和31年11月下旬～12月上旬

ニ 調査方法 面接法

II. 調査の結果

1. 調査対象者の年齢

	総数	～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～	不明
東京	100% (587)	※0	21	37	25	13	4	—
横浜市の山梨県田舎村	100% (116)	—	15	44	26	14	—	1
平磯町	100% (127)	—	13	31	28	20	18	—
計	100% (944)	1	25	30	22	14	8	—

()内の数字は実数

※印は0.5%以下

調査の対象者である主婦の年齢は、どの地域でも30才代が最も多く、次いで40才代、20才代、50才代の順に分布している。但し、平磯町（農村）だけは、20才代が30才代より多い。

なお、昭和三十年度国勢調査の結果によれば、東京都23区における女子有配偶者の年齢分布は次のとおりである。本調査の結果とくらべてまず大差ないと見える。

	～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～
%	0	25	34	23	13	5

2. 調査対象者の職業

	総数	雇用者	自営 職業	家内 労働	その他	無職
東京都	100%	7	12	12	1	68
横浜市	100%	5	19	10	—	66
田舎村(農)	100%	4	60	2	—	34
平磯町(漁)	100%	18	24	4	—	54

無職の主婦は都市の方が多く、東京都と横浜市では、仕事を持たない者はそれぞれ全体の7割を占めている。この率は平磯町(農村)では54%、田舎村(農村)では34%となっていて、仕事をもたない主婦の割合は田舎村が一番少ない。

職業のうち一番多いのは家業従業(少数の自営を含む)で、とくに田舎村(農村)ではその率が高い。

雇用者は総体に少ないが、漁村の平磯町では比較的に多く18%を占める。
家庭内職は都会ほど多い。

3. 同居家族(夫の原票との同居について)

	夫の父と 同居	夫の母と 同居	夫のきょうだい と同居
東京都	6	12	7
横浜市	11	15	9
田舎村(農)	11	22	9
平磯町(漁)	16	27	16

夫の父、母、きょうだいと同居するもののうち、夫の母との同居者がどの地域でも一番多く、四地域で10%以上20%台であり、そのうち東京都は最も少く12%、次いで横浜市、田舎村(農村)、平磯町(漁村)の順に多くなり、平磯町では27%が夫の母と同居している。

夫の父や夫のきょうだいと同居するものは四地域とも比較的に少ないが、地域差の傾向は母の場合と同じである。

4. 結婚

問、あなたの結婚は、見合結婚ですか、恋愛結婚ですか?

	総数	恋愛結婚	見合結婚	その他
東京都	100%	25	74	1
横浜市	100%	24	76	—
田舎村(農)	100%	11	89	—
平磯町(漁)	100%	11	88	1

恋愛と見合の割合をみると、東京都と横浜市ではほぼ1:3の割合となっているが、他の二地域では見合の比重がずっとふえて、田舎村、平磯町ともに恋愛1、見合9の対比となっている。

5. 夫婦関係

問、あなたは御主人といっしょに映画を見に行ったり、どこかへあそびに行ったりしますか?

	総数	よく行く	時々行く	めったに行かない	全く行かない	不明
東京都	100%	22	33	23	22	—
横浜市	100%	12	37	28	20	3
田舎村(農)	100%	8	32	18	42	—
平磯町(漁)	100%	3	29	12	57	—

“よく行く”ものは、東京都では全体の22%で田舎村(農村)も多し、次いで横浜市、田舎村(農村)、平磯町(漁村)の順に少くなり、最低の平磯町では僅か3%が“よく行く”と答えている。

“よく行く”ものと“時々行く”ものを合すると、都市では約半数、田舎村(農村)では4割、平磯町では約3割となっている。

“全く行かない”ものが、東京都にも22%あり、漁村の平磯町となると、57%が“全く行かない”と答えている。

6. ラジオ番組のえらび方

問、ご主人の好きなラジオの番組とあなたの好きな番組とがちがうときにどちらをききますか?

	総 数	主人の 番組を かけるこ とが多い	主人と自 分の番組 を半々位 かける	自分の番 組をかける ことが多い	そ の 他			
					小 計	ラ ンチ が	大 急 回 見	そ の 他
東京都	100%	55	21	9	15	2	5	8
横浜市	100%	58	13	7	22	3	3	16
田舎村(栗)	100%	60	22	4	14	2	3	9
平磯町(津)	100%	68	15	3	14	3	7	4

ラジオの番組について大卒の頃で意見が合わなかったとき“主人の番組をかけることが多い”ものの率はどの地域でも最高で、東京都の55%から、横浜市、田舎村、平磯町の順にふえて、最寄の平磯町(津村)で74%に近い。

次に多いのは“主人と自分の番組を半々位かける”もので、四地域で13%から22%の順である。

“自分の番組をかけることが多い”と考えたものは、東京都でも1割に満たないが、横浜市、田舎村、平磯町の順に更に少なくなっている。

7. 夫の家事手帳 4

向 あなたの御主人は次のことを手伝ってくれますか？

1. 床の上げ下し 2. 室内の掃除 3. 食事の後片づけや炊事 4. 洗濯

	総 数	ど れ も 手 伝 わ ない	床 の 上 げ 下 し	室 内 の 掃 除	食 事 の 後 片 づ け や 炊 事	洗 濯
東京都	100%	40	53	41	17	7
横浜市	100%	44	47	38	12	10
田舎村(栗)	100%	67	29	22	15	8
平磯町(津)	100%	48	39	26	21	11

“床の上げ下し”では、東京都の夫たちは53%までが手伝っており、横浜市、平磯町(津村)がこれに次ぎ、一番手伝わないのは田舎村(栗村)の夫たちとなっている。(29%)

“室内の掃除”でも、地域差の傾向は同じだが、どこでも“床の上げ下し”ほどには手伝われていない。

“食事の後片づけや炊事”“洗濯”となると、全般的に手伝う率はすうと低下するが、却って平磯町(津村)では比較的良好に手伝われている。

“どれも手伝わない”というものは東京都の40%が一番少く、横浜市、平磯町(津村)、田舎村(栗村)の順に手伝わない率がふえて、田舎村では67%が“どれも手伝わない”と答えている。

8. 夫の家事手帳 4

向 (前向をうけて)ではこのうち、男も手伝うべきだと思うものがありますか？ (それはなんですか？)

	総 数	ど れ も 手 伝 わ ない	床 の 上 げ 下 し	室 内 の 掃 除	食 事 の 後 片 づ け や 炊 事	洗 濯	無 回 答
東京都	100%	44	46	34	12	8	4
横浜市	100%	36	48	35	6	8	4
田舎村(栗)	100%	50	38	25	10	5	5
平磯町(津)	100%	52	32	29	16	9	7

“どれも手伝うべきではない”と考えた率は、調査を受けたものの上では都市より栗・田舎村の方にやや高い。

これらの仕事を“手伝うべきだと思う”ものの割合を前表の現在手伝っているものの割合と比較すると、二三の例外を除けば、後者の方が各地域とも若干高率になっている。

9. 家事に対する夫の評価

向 あなたの御主人は、あなたの家事仕事の価値を、十分みとめてくれますか？

	総 数	十分 みと めて くれる	十分 みと めて くれない	時 と 場 合 による	余 り みと めて くれない	全 く みと めて くれない	無 回 答
東京都	100%	56	30	4	8	1	1
横浜市	100%	51	37	3	6	1	2
田舎村(栗)	100%	66	19	4	9	2	—
平磯町(津)	100%	52	35	1	7	2	3

家事に対する夫の評価はどの地域もかなり高く“十分みとめてくれる”というものと“大体みとめてくれる”というものの合計をみると、四地域ともほとんど一率に85%以上に及んでいる。

“余りみとめてくれない”というものと“全くみとめてくれない”というものの合計に

ついても地域差はほとんどなく、しかもその率は低く、どこも1割前後にとどまっている。

10. 男の子の家事手伝い

問. あなたは男の子にも、女の子と同じように炊事や洗濯などの家庭の仕事を手伝わせた方がよいと思いませんか。それとも男の子にはその必要はないと思いませんか？

	総数	きかせた方がよい	必要はない	その他	無回答
東京都	100%	56	14	25	4
横浜市	100%	58	17	23	2
田舎(農)	100%	45	23	30	2
平磯町(漁)	100%	47	11	36	5

男の子にも家事を「手伝わせた方がよい」という意見ものは、面地域を通じて半数近くないしは過半数を占めている。地域別にみると都市の方にやや多いが、大きなひらきはなし。

「手伝わせる必要はない」というものは、農・漁村の方にやや多く、東京都と横浜市で約半、田舎村と平磯町で約4割となっている。

11. 同居の可否

問. 子供が結婚した場合、若夫婦は当然、親たちと一しょにくらすべきだと思いますか。それともできることなら、別にくらすべきだと思いますか？

	総数	いっしょにくらすべき	別にくらすべき	その他	無回答
東京都	100%	19	11	64	4
横浜市	100%	28	14	52	4
田舎(農)	100%	53	12	32	1
平磯町(漁)	100%	60	11	25	3

「いっしょにくらすべきだ」と考えたものの割合は、東京都と横浜市では、それぞれ9名と28名であるのに対し「別にくらすべき」というものが過半数となっている。一方田舎村と平磯町では、「いっしょにくらすべきだ」と思うものが過半数で、「別にくらすべきだ」というものは、それぞれ4名と11名にあり、都市と農・漁村とでは対照的な結果

がみられる。

12. 家族との話し合い

問. a) あなたは家族の方たちと世の中の動きや、政治に関係のある問題などについて、話し合うことがありますか？
 b) それでは、家庭内の問題、たとえば子供の教育や職業のこと、家の財産の売買のこと、家庭の将来の問題などについてはどうですか？

	総数	a) 世の中の問題			b) 家庭内の問題			
		話し合う	あまり話し合わない	話さない	話し合う	あまり話し合わない	話さない	不明
東京都	100%	47	38	15	75	19	6	—
横浜市	100%	50	32	18	72	19	9	—
田舎(農)	100%	41	35	24	67	15	16	2
平磯町(漁)	100%	32	32	36	75	16	9	—

世の中の問題について家族の間で「話し合う」ものは、東京、横浜では約5割、田舎村(農村)では約4割、平磯町(漁村)では約3割とになっていて、平磯町が一番少ない。それだけに平磯町では、「話さない」ものゝ率が高く、ここだけは「話し合う」ものより「話さない」ものゝ方が多くなっている。

しかし、家庭の問題となると、このような地域間の差は小さくなり、しかも話し合う率は高く、面地域を通じて7割前後のものが「話し合う」と答えている。

13. 世代へのあたり

問. あなたの考え方は、あなたの一代前の(親の)世代の考え方で、あなたのつぎの(子供の)世代の考え方のどちらに近いと思いませんか？

	総数	一代前の世代(親の世代)に近い	つぎの世代(子供の世代)に近い	その他	無回答
東京	100%	22	28	44	5
神奈川	100%	22	34	41	3
田舎(農)	100%	17	28	50	5
平磯町(漁)	100%	23	26	37	9

四地区を通じて、大体40〜50%のものが“子供の方に近い”と答えている。“親と子の中間”のものが次に多く、“親の方に近い”というものはどこも20%前後で、比較的に少ない。

地域間のからさについてはとくに顕著なものはみられない。

14. 男女共学賛否

問. あなたは中学校の男女共学に賛成ですか。

それとも反対ですか？

	総数	共学賛成	賛成対	どちらともいえない	その他	賛成心	分らない
東京都	100%	60	25	2	1	2	10
横浜市	100%	63	18	3	3	2	11
田舎(某)	100%	52	28	2	5	2	11
平塚(某)	100%	32	41	4	5	2	16

共学賛成者は東京都、横浜市で約60%、田舎村(某村)で約50%、平塚町(某村)で約30%となっている。

共学に反対意見のものは、平塚町(某村)に一番多く、41%で、また賛成者より反対者の方が多いのはこの地域だけである。

この質問では、分らなくて答えられないものが、どの地域にも約1割(平塚町では16%)みられる。

15. 会合への出席

問. (1) あなたは婦人会やPTAや町内会や部落の集りなどに出ることがありますか？

1. よく出る方だ。 2. 時々出る。 3. 出ない方だ。

(2) (1)前問で「1,2の人」に出ることは楽しみですか？

		出ることがあるか				出ない方だ	その他	不明
		よく出る方だ	時々出る	出ない方だ	不明			
東京都	20%	24	18	58	—	68	20	12
横浜市	20%	19	18	48	15	54	21	2
田舎(某)	20%	58	18	24	—	91	5	2
平塚(某)	20%	18	20	62	—	74	12	—

東京都、横浜市、田舎村、平塚町(某村)の4地区を通じて、よく出る方だ、時々出る、出ない方だ、不明の割合は、東京都が24%、横浜市が19%、田舎村が58%、平塚町が18%となっている。また、出ることがあるか、出ない方だ、不明の割合は、東京都が68%、横浜市が54%、田舎村が91%、平塚町が74%となっている。また、出ることがあるか、出ない方だ、不明の割合は、東京都が12%、横浜市が2%、田舎村が2%、平塚町が—%となっている。